

山梨留学生就職促進プログラム概要

「山梨留学生就職促進プログラム」は、文部科学省の委託事業として、外国人留学生の山梨県内および日本国内での就職促進、並びに定着を図る事業である。本プログラムの特色は、山梨県や甲府市、県内産業界と山梨大学が連携し、産学官一体となって、エネルギーや AI、IoT、ロボティクス分野における研究の推進、及び地域の基幹産業であるロボティクスや機械電子工業などの人手不足の解消と産業の活性化に繋がる山梨型モデル(山梨発人材創出・地域定着型)の構築にある。そして、留学生が卒業後も活躍できる場を形成し、留学生の山梨県内、並びに日本国内での就職率の向上を目指すものである。

本プログラムには、既に日本語能力試験 N2 合格相当以上の日本語力を有する学部生や大学院生を対象とした「イノベーション駆動トラック」と、英語対応コースに入学する大学院生を対象とした「研究駆動トラック」の2つのトラックを配置する。このうち、「イノベーション駆動トラック」には、学部開講科目を計画的に履修しながら、2年間で就職に向けた意識形成と実践力の習得を図る「2年間コース」と、1年間で就職に向けた意識形成と準備を集中的に行う「1年間コース」を用意し、学生が自分の進路計画に合わせて受講できるよう柔軟性をもたせている。

「研究駆動トラック」においては、プログラム期間を2年間とし、渡日前に半年間(300時間)の日本語強化コースを提供するとともに、入学後も夜間や土曜日を利用して日本語力の集中強化を施し、プログラム修了時までN2/N3レベルの日本語力の獲得を目指す。それと同時に、大学院の所属研究室と企業との間で課題解決に向けたプロジェクトや共同研究に取り組みながら、日本の企業文化に対する理解を深め、自分の今後のキャリアと、地域や企業に対する活躍・貢献の場を見つけていく。

いずれのトラックにおいても、「日本語教育」「キャリア教育」、そしてインターンシップを含めた「企業理解教育」の3つの教育の柱を打ち立て、プログラム参加学生が各教育分野から網羅的に受講するように、各講座等には学習時間や本プログラムにおける重要度に応じたポイントを設け、プログラムの修了要件をポイント制で定めている。各科目や講座、セミナー等は、就職に関する知識を得るものや、企業の人事担当者や卒業生による企業文化や就職に関する実際的な講話、自己分析や企業研究等を通じた自己と企業とのミスマッチを防ぐ様々な活動、企業文化を実体験する企業見学やフューチャーサーチ、インターンシップといった、多彩かつ多角的に日本での就職に向けた意識啓発と実践力の構築を図る内容となっている。

本教育プログラム修了時には、留学生の学科や専攻、研究分野で培った知識や技術、能力を、日本の産業界で活かせる人材を輩出できることが期待される。

